

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和6年 4月18日（木）

2 調査対象 第6学年 児童7名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語、算数）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。

算数は、全国平均を下回りました。

（2）児童質問紙調査

成果が見られた項目

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

○新聞を読んでいますか。

○5年生までに受けた授業で、PC、タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

課題が見られた項目

●算数の問題を解いたとき、別の解き方を考えようとしていますか。

●学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどのくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか（遊び目的に使う時間は除く）。

●普段（月曜日から金曜日）1日当たりどのくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、正しい選択肢を選ぶことや、学び合いや算数の活用力に関する問題に課題が見られました。本校では今後、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・少人数ならではの「わかる・できる」授業の模索及び実践
- ・授業を中心とした教育活動全体を通して、学び合い表現する力を育て、様々な問題と出会わせ、活用力の育成や自分の考えを育む。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・漢字・計算など基礎・基本の定着と、自分の考えや思いを文章化すること

○ICT機器の活用について

- ・学習機器としての活用の仕方と、使用時間の見直し等使用ルールの設定

○地域の行事や体験活動等への参加

- ・多くの人とのふれあいや豊かな体験活動